

五島市トピックス

夏の五島・夕陽を浴びて駆け抜けよう

第21回タヤケマラソンが行われます。

毎年、約2,000名の選手が出場します。
あなたも走ってみませんか？

8月25日(土)開催

7月13日第1次締め切り

7月23日第2次締め切り

当日 午後4時最終締め切り

締め切り時期により参加料が異なるそうです。

詳しくは五島市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.goto.nagasaki.jp>

<心のふるさと市民への特典>

8月22～28日にタヤケマラソン参加者及びその同伴者で心のふるさと市民(「ふるさと市民カード」の提示が必要)の方は、長崎 五島(福江)間の九州商船ジェットフォイルの往復料金(通常12,220円)を10,500円で購入できます。



福江島の南西部にある玉之浦町にて玉之浦紫陽花街道が見事に花開きました。微妙に違う色で梅雨空の下にしっとり開き、紫陽花の壁が玉之浦半島に続いていました。



五島市内の施設を一般の方に知ってもらおう！ということで毎年「五島市施設見学会」を行っています。今年は6/28に玉之浦地区の施設を見てもらいました。受付期間中は申し込みが殺到し、残念ながら参加できなかった方もおられました。玉之浦地区大人気です。

6月中旬、ウニの解禁でした。

福江の大浜地区の方が採っていたのを見せてもらいました。

銚子から富江の手前までが大浜地区の漁場だそうで、100名くらいで磯に入り、採るそうです。

柄の長いスプーンのような器具で写真の黄色い部分をとり、塩水で洗って食べます。

取材した先の娘さんは、スプーンでとりそのまま食べるのが生ウニの中でも「一番おいしい」そうです。ぜひ食べてくださいね。



五島の夏祭りスケジュール

7月15日(日)	第18回ぎょうが崎漁火祭(岐宿町)
7月28日(土)～29日(日)	五島市中心商店街(福江)夜市
8月10(金)～11(土)	第33回富江まつり (富江町富江小グランド・商店街埋立地)
8月12日(日)	奈留町夏まつり(奈留町相ノ浦港)
8月中旬	三井楽夏まつり(三井楽商店街)

ちょっとびっくり？

五島では8月13日～15日までのお盆の期間は親族が先祖のお墓に集まり墓石の周りにちょうちんを掛けて照らし、花火をします。地区によって時間や日にちが異なりますが、夕方から暗くなるまで賑やかなお墓になります。この時期に来られた方はきっとびっくりしますよ！

アイアンマンジャパン五島長崎が終わりました。

226.4kmにわたるレースお疲れ様でした。

沿道で応援してくださったみなさま、各地で応援して

くださった心のふるさと市民のみなさま、ありがとうございました。

大会前日は雨で気温も下がっていましたが、当日はみんなの力でいい天気でした。選手にはちょっと予想外できつい展開だったかもしれせん。

エントリー数 795名(6/5時点)

最終登録者数723名

完走者数 643名(完走率88.9%)

アイアンマン大会に参加された皆様の中にふるさと市民がたくさんおられました。ふるさと市民カードを提示してくれた方々ありがとうございます。大会時にパンフレットを配布したところ、大会後も続々と申請書が届いております。ありがとうございます。

～アイアンマン大会出場後にふるさと市民に加入された方々の声です～

- ・島の人々が温かい。
- ・アイアンマンジャパンの開催される五島市がもっと繁栄してもらいたいから。
- ・今後も元気で毎回アイアンマンに出場できるよう願って。コンカナ王国がとてもよかったので。福江で接した一人ひとりの温かいもてなしがまるで故郷のようだと感じたので。
- ・アイアンマンの開催に理解と情熱を感じる。
- ・毎年トライアスロンでお世話になるので、参加しようと思った。
- ・アイアンマンジャパンで沿道の皆様、ボランティアの皆様他多数の大会関係者の方の心温まる応援を受け感動したこと。
- ・美しい自然に感動したこと。

五島市の取り組み 3

漁業研修事業

五島市では、漁業後継者が減少傾向にあるため、地域水産業の後継者育成として漁業研修事業に取り組んでいます。

五島市定住を希望するUターン者または、地元の漁業就業者を対象に漁業着業までの基礎知識の習得を支援します。

1年間地元就業指導者の下で研修し、独立または水産会社への就業を目指していただきます。

五島市ホームページ、広報誌、長崎新聞に記事を掲載し募集を行っております。

また大阪、東京で行われた「漁業就業支援フェア」(漁業就業を希望する方を集めての面談会)に参加し研修生の募集を行ったところ、五島は人気が高く、会場一番の盛況振りでした。

8月に再度開催されるこのフェアでは、定置網漁業者2経営体が参加し、従業員の募集を行う予定です。

平成15年度から研修生の募集を始めておりますが、今年6月現在で5名のUターン者がこの研修制度を利用し五島で漁業への就業または研修をしています。



ふるさと市民へのお願い

長崎地区にて「五島市心のふるさと市民」向けに
何らかのサービスを提供していただける事業者・個人を募集します。

どうのこと?

現在、2300名を超える心のふるさと市民がおりますが、この方々同士で何かコミュニケーションがとれる方法がないかなと考えています。現在「五島市心のふるさと市民」ということで、五島市とつながっている個人の皆様方がそれぞれお住まいの場所で「お隣さんもふるさと市民だった」と新しい発見ができたり、「この前五島に行ってきたけど、新しいトンネルのできちゃったよ」と五島の話で盛り上がりたりできれば素敵じゃないかな。

どうすればいい?

今、「ふるさと市民カード」で得られる特典は五島に来たときだけになっています。これを全国のあちこちでなにかしらの特典が受けられるように、協力店を募集します。また、ふるさと市民の皆様からこの店なら協力してくれるかもとの推薦も募集します。ただ、推薦して下さる場合は五島市財政難のため出張費が組めませんでしたので、相手の事業者さんとの交渉もできる限りお願いしたいと考えております。

どこでもいいの?

特典内容やサービス内容はお任せいたします。ただ、初めての取り組みですので、まずは現在の会員の4割を占める長崎県内から協力店の募集を始めたいと考えております。情報の提供をお待ちしております。

【情報提供先】五島市豊かな島づくり市長公室(バーチャル五島市役所事務取り扱い部署)

TEL 0959-72-6127 FAX 0959-74-1994



メジロのさえずり

五島の初夏の風物詩となった感のあるアイアンマン大会が終了した。

思い起こせば、昨年、彼らへのアンケート採りから、このふるさと市民構想は動き出した。

本年3月から開始した登録は、まずまずの動き出し。(感謝!感謝!)

リアル五島市では、この構想についてさまざまな議論がある。

加入者数の多寡・経済効果など、さまざまある議論に、もう一つ、文化的側面の議論も加えていただけないものか。悩み多き現実から遊離した「五島ふるさと文化圏」、そこに関わるだけで、ほっとする空間の形成。そのようなコミュニティがあっても良いような気がするのだが・・・。

五島を思い、遠く都会から五島を支えて下さる皆様の心を押し量ることは難しい。

ただ、ありがたく受け止め、一人でも多くの人々が参加するネットワークを築くため地道に努力したい。

(文責:K.N)



五島市は九州の西の端、五島列島にあります



五島市市章



五島市の統一
ロゴマークです。

〈発行〉

バーチャル五島市

(五島市 豊かな島づくり市長公室内)

TEL 0959-72-6127

FAX 0959-74-1994

E-mail furusato@city.goto.nagasaki.jp